

「広島神楽」定期公演へようこそ!

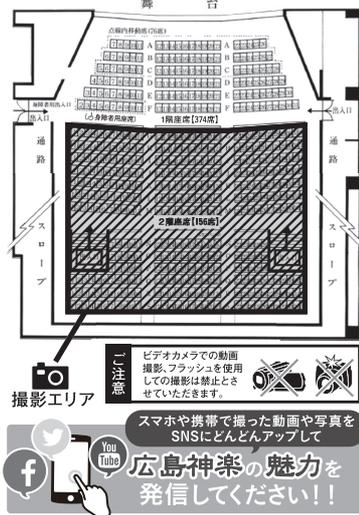
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



12月12日のタイムスケジュール

出演：大森神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『源頼政』

（おおよそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『滝夜叉姫』

（おおよそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。（舞台へは靴を脱いでお上がください。）
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

おもしろかぐらだん

大森神楽団プロフィール ～広島市佐伯区～

大森神楽団は、広島県の奥座敷・湯来温泉でお馴染みの広島市佐伯区湯来町、大森八幡神社を氏神社として、現在まで百数十年の歴史を持つ神楽団です。もともと佐伯区一帯に古くから伝わる「十二神祇」という神楽を継承してまいりましたが、団員の高齢化、後継者の減少に対応するため、平成六年からは矢上系山県舞（六調子旧舞）、平成七年からは阿須那系高田舞（八調子新舞）を導入いたしました。これをきっかけに団員数も増え、次第に活気溢れる神楽団へと変わっていきました。今では後援会やファンの方々に支えられ、多数のイベント・大会に出演させて頂いております。これからも伝統の火を絶やすことなく、感動してもらえる『大森神楽』を確立できるよう、団員一同日々精進してまいりたいと思います。まだまだ未熟な神楽団ですので、皆様の温かいご指導とご支援をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第一幕『源頼政』（みなものよりまさ）

平安時代、毎夜丑の刻（午前二時）になると京都三条ヶ森の空に黒雲が立ち昇り、この世のものとは思えない動物が怪異なる声で鳴くのでした。

時を同じくして帝の近衛天皇は、原因不明の魔物に取り付かれたように毎夜うめき悩まされていました。

そこで、弓の名人源頼政は帝の勅命を受け、郎党猪早太を引き連れ頭が猿、身は狸、手足は虎、尾は蛇なる容姿の怪物「鵺（ぬえ）」を退治する物語です。

【出演】	大太鼓 … 加藤 壘	近衛天皇 … 田川 夢翔	もののけ … 菊川 勇樹
	小太鼓 … 松本 智幸	藤原頼長 … 本西 満明	鵺 … 赤井 優太郎
	手打鉦 … 佐上 季恵	源頼政 … 吉政 友也	
	笛 … 川本 日菜子	猪早太 … 佐上 友貴	

第二幕『滝夜叉姫』（たきやしやひめ）

東の国の新皇を名乗った平将門（たいらのまさかど）は、天慶（てんぎょう）の乱で藤原秀郷（ふじわらのひでさと）・平貞盛（たいらのさだもり）の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫（さつきひめ）は、父の怨念を果たす為、貴舟（きふね）の社（やしろ）に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・相馬（そうま）の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀（おおやのちゅうじょうみつくに）らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 吉政 友也	大宅中将光圀 … 児玉 崇志	五月姫 … 松本 智幸
	小太鼓 … 赤井 優太郎	下田義近 … 菊川 勇樹	（滝夜叉姫）
	手打鉦 … 森泉 侑子		夜叉丸 … 田川 夢翔
	笛 … 佐上 季恵		蜘蛛丸 … 佐上 友貴